

44782号 (日刊)



©朝日新聞社 2006年
大阪府北区中之島3丁目
発行所 2番4号 〒530-8211
朝日新聞大阪本社
電話 06-6231-0131

厚労省調査 週61時間労働・当直月17回 産科医、過酷さ鮮明

産科医は週61時間労働で、当直は月17回、休みは年50日。そんな労働実態が、厚生労働省の研究班の調査で明らかに

厚労省調査

なった。ほとんどが当直明けも続けて働いており、調査担当の杉本充弘(日赤医療センター産科部長)は「産科の救急診療体制は崩壊しつつある。集約化や地域の助産所との連携などの対策が必要だ」としている。

昨年10、12月、産科または周産期医療を掲げる全国473施設(26大病院、208一般病院、166診療所、73助産所)から回答を得た。これらの施設の04年の出産総数は計16万4227人で、全国の出生数の14.8%。

産科医の週平均労働時間は61.0時間。大病院65.1時間、一般病院59.5時間、診療所60.0時間だった。当直回数

は月平均16.7回で、大病院5.2回、一般病院6.6回に対し診療所は21.7回と多かった。96.9%が当直明けに継続して勤務していた。年間休暇は平均50.4日で、それぞれ57.9日、68.9日、38.6日だった。

常勤医師の平均は大病院7.5人、一般病院3.5人、診療所1.4人。「さらに必要とする人数」を聞いたところ、それぞれ3.1人、1.5人、0.5人との回答だった。(桜井林太郎)

国土交通次官
安富氏起用へ

国土交通省は18日、佐藤信秋国土交通事務次官

表 1. RQ 別の最終的な検索結果件数とガイドラインでの採用件数

RQ	Evidence		非 Evidence		当初検索外の補充文献		合計 a+b+c+d
	検索件数	a.内採用	検索件数	b.内採用	c.国内文献	d.海外文献	
1	10	0	91+70*	0	1	2	3
2	0	0	143	0	不明	不明	不明
3	2	1	220	0	1	3	5
4	6	0	307	2	0	4	7
5	20	0	773	6	2	11	19
6	12	0	397	1	2	9	12
7	5	0	207	0	1	5	6
8	4	0	114	1	0	4	5
9	0	0	79	0	0	6	6
10	0	0	41	0	不明	不明	不明
11	18	0	0	0	0	5	5
12	0	0	387	0	4	0	4
13	1	0	43	0	2	4	6
14	40	0	548	0	0	4	4

凡例

単位は「件」。文献の件数。同一文献が複数の RQ に重複している場合は各 1 件とする。

Evidence: 医学中央雑誌の検索結果で、エビデンスレベルフィルタを通過したもの

非 Evidence: 同、エビデンスレベルフィルタを通過しなかった補完的検索結果

当初検索外の補充文献: ガイドラインでエビデンスとして採用された文献のうち、当初検索結果以外のもの。未公表文献・非雑誌文献・RQ 修正後の追加検索結果を含む。

*RQ1 は経済的側面を扱った文献を別途検索した。検索結果は 70 件である。

表 2-1

出産フィルタ
分娩/TH or @分娩法/TH or 分娩合併症/TH or 分娩介助/TH or 産痛/TH or 会陰切開術/TH or 家庭分娩/TH or 自然分娩/TH or @分娩術/TH or 分娩管理/TH or 産院/TH or 分娩室/TH or 病院産婦人科/TH or 分娩施設/TH or 助産師/TH or 助産所/TH or 産褥障害/TH or 出生時損傷/TH or 新生児仮死/TH or 胎児仮死/TH or 胎便吸引症候群/TH or 水中分娩/TH or 胎児モニタリング/TH or 陣痛/TH or 妊産婦/TH or 産科看護/TH or 助産学/TH or 産科学/TH or 新生児蘇生法/TH or 分娩/TA or 出産/TA or 会陰切開/TA or 会陰裂傷/TA or 産院/TA or 助産/TA or 産婆/TA or 出生時/TA or 胎便/TA or 陣痛/TA or 妊婦/TA or 産婦/TA or 産科/TA

表 2-2

出産・胎児・新生児フィルタ
@産褥/TH or 分娩/TH or @分娩法/TH or 分娩合併症/TH or 産痛/TH or 会陰切開術/TH or 家庭分娩/TH or 自然分娩/TH or @分娩術/TH or 分娩管理/TH or 産院/TH or 分娩室/TH or 病院産婦人科/TH or 分娩施設/TH or 助産師/TH or 助産所/TH or 産褥障害/TH or 出生時損傷/TH or 新生児仮死/TH or 胎児仮死/TH or 胎便吸引症候群/TH or 水中分娩/TH or 胎児モニタリング/TH or 陣痛/TH or 妊産婦/TH or 産科看護/TH or 助産学/TH or 産科学/TH or 新生児蘇生法/TH or 新生児/TH or 胎児/TH or 産褥/TA or 分娩/TA or 出産/TA or 会陰切開/TA or 会陰裂傷/TA or 産院/TA or 助産/TA or 産婆/TA or 出生時/TA or 胎便/TA or 陣痛/TA or 妊婦/TA or 産婦/TA or 褥婦/TA or 産科/TA or 新生児/TA or 胎児/TA

表 2-3

エビデンスレベルフィルタ (非常に広い A)
研究デザイン/TH or 縦断研究/TH or "systematic review"/TA or メタ分析/TA or メタ解析/TA or ガイドライン/TH or (guideline/TA or メタアナリ/TA or システマティック/TA or "meta-analysis"/TA or ((RCT/TA or CCT/TA) and (LA=日本語) not (infarct/TA or HRCT/TA or coarct/TA)) or random/TA or ランダム/TA or ランダマイズ/TA or 無作為/TA or ラテン方格/TA or 盲検/TA or ルブラインド/TA or "Double Blind"/TA or "Blind test"/TA or 両盲/TA or 双盲/TA or 乱数表/TA or "clinical trial"/TA or くじ引き/TA or クロスオーバー/TA or 封筒法/TA or "single blind"/TA or ケースコントロール/TA or ケース・コントロール/TA or 比較研究/TA or 対照研究/TA or 断研究/TA or 断面研究/TA or 追跡研究/TA or コホート/TA or コーホート/TA or cohort/TA or "comparative study"/TA or 臨床試験/TA) and (PT=原著,会議録)

※MINDS のキーワードリストに依拠した検索語の一部は有効性を確認せず使用している

表 3-1

RQ3 医学中央雑誌 検索実施年月日: 2006.8.27 対象年代: 1983-2006, Pre 医中誌含む

No	検索式	件数
1	助産師管理/TA or 助産婦管理/TA	1
2	(助産師/TI or 助産婦/TI) and (管理/TI or 決定/TI or 方針/TI)	51
3	産科医管理/TA	1
4	(助産師/TI or 助産婦/TI) and (産科医/TI or 医師/TI or ドクター/TI or doctor/TI or obstetrician/TI)	78
5	(助産師/AB or 助産婦/AB) and (産科医/AB or 医師/AB or ドクター/AB or doctor/AB or obstetrician/AB)	87
6	助産師/TH	3,676
7	医師/TH	14,337
8	#6 and #7	69
9	分娩法/TH	8,342
10	自然分娩/TH	910
11	#9 not #10	7,432
12	#6 and #11	100
13	#7 and #10	9
14	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #8 or #12 or #13	339
15	エビデンスレベルフィルタ (非常に広い A)	54,219
16	#14 and #15	3
→ #16 から 2 件を Evidence として出力		
17	#14 not #16	336
18	@看護師/TH	20,519
19	#17 not #18	320
20	看護師/TI or 看護婦/TI	16,179
21	#19 not #21	312
22	看護師/AB or 看護婦/AB	7,414
23	#21 not #22	299
24	養成/TI or 教育/TI	38,203
25	#23 not #24	278
26	#25 AND (PT=会議録除く)	220
→ #26 を非 Evidence として出力		

表 3-2

RQ4 医学中央雑誌 検索実施年月日: 2006.8.27 対象年代: 1983 - 2006, Pre 医中誌含む

No	検索式	件数
1	姿勢/TH	13,452
2	手術時体位/TH	323
3	#1 not #2	13,129
4	姿勢/TA	6,981
5	仰臥位/TA	1,798
6	座位/TA	2,958
7	腹臥位/TA	1,336
8	側臥位/TA	1,188
9	立位/TA	4,246
10	Head-Down/TA	76
11	Head-Up/TA	380
12	蹲踞位/TA	17
13	自由/TH	366
14	安楽/TH	275
15	#3 or #4 or #5 or #6 or #7 or #8 or #9 or #10 or #11 or #12 or #13 or #14	23,864
16	出産フィルタ	75,710
17	#15 and #16	647
18	(フリースタイル/TH or 体位/TH or 自由/TH) and (分娩/TH or 娩出/TH or 陣痛/TH or 出産/TH or 産婦/TH)	184
19	(フリースタイル/AB or 体位/AB) and (分娩/AB or 娩出/AB or 陣痛/AB or 出産/AB or 産婦/AB)	92
20	自然分娩/TH	910
21	分娩管理/TH	1,915
22	難産/TH	1,391
23	#20 or #21 or #22	4,009
24	#19 and #23	28
25	#17 or #18 or #24	716
26	エビデンスレベルフィルタ (非常に広いA)	54,219
27	#25 and #26	6
→ #27 を Evidence として出力		
28	#25 not #27	710
29	#28 AND (PT=会議録除く)	555
30	分娩/TH or @分娩法/TH or 自然分娩/TH or 難産/TH or 分娩介助/TH or @分娩術/TH or 分娩管理/TH	17,856
31	#29 and #30	307
→ #31 を非 Evidence として出力		

表 3-3

RQ5 医学中央雑誌 検索実施年月日: 2006.9.3 対象年代: 1983 - 2006, Pre 医中誌含む

No	検索式	件数
1	罨法/TH	230
2	温湿布/TA	45
3	冷湿布/TA	25
4	罨法/TA	408
5	あん法/TA	8
6	加温/TA	3,337
7	冷却/TA	3,306
8	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6 or #7	7,007
9	マッサージ/TH	2,146
10	マッサージ/TA	2,119
11	指圧/TA	442
12	つぼ/TA	1,012
13	刺鍼法/TH	12,217
14	鍼/TA	8,888
15	経絡/TA	1,144
16	灸/TA	6,065
17	経穴/TA	730
18	圧迫法/TA	344
19	#9 or #10 or #11 or #12 or #13 or #14 or #15 or #16 or #17 or #18	20,032
20	側臥位/TH	417
21	側臥位/TA	1,190
22	@姿勢/TH	10,042
23	姿勢/TA	7,022
24	Head-Down/TA	77
25	Head-Up/TA	384
26	座位/TH	1,361
27	座位/TA	2,976
28	腹臥位/TH	769
29	腹臥位/TA	1,345
30	伏臥位/TA	74
31	立位/TH	1,547
32	立位/TA	4,261
33	フリースタイル/TA	128
34	#20 or #21 or #22 or #23 or #24 or #25 or #26 or #27 or #28 or #29 or #30 or #31 or #32 or #33	22,244
35	@代替医術/TH	1,465

36	#8 or #19 or #34 or #35	50,154
37	硬膜外麻酔/TH	4,830
38	硬膜外麻酔/TA	3,350
39	#37 or #38	5,920
40	無痛法/TH	4,954
41	ペチジン/TA	74
42	Meperidine/TH	103
43	ペチロルファン/TA	3
44	トラマドール/TA	42
45	Tramadol/TH	41
46	ネプタジノール/TA	0
47	ペンタメジン/TA	0
48	産科麻酔/TH	1,154
49	麻酔/TA	54,185
50	#41 or #42 or #43 or #44 or #45 or #46 or #47 or #48 or #49	54,488
51	#39 or #40 or #50	60,055
52	陣痛/TH	178
53	陣痛/TA	1,420
54	産痛/TA	122
55	和痛/TA	187
56	#52 or #53 or #54 or #55	1,753
57	CK=妊婦	59,367
58	妊産婦/TH	9,897
59	#56 or #57 or #58	62,229
60	#36 and #59	581
61	#51 and #56	256
62	水中分娩/TH	10
63	水中分娩/TA	10
64	水中出産/TA	35
65	"immersion in water"/TA	0
66	水浴出産/TA	0
67	#62 or #63 or #64 or #65 or #66	49
68	産科無痛法/TH	341
69	無痛分娩/TA	391
70	無痛出産/TA	0
71	#68 or #69 or #70	494
72	#60 or #61 or #67 or #71	1,189
73	エビデンスレベルフィルタ (非常に広い A)	54,642
74	#72 and #73	20

→ #80 を Evidence として出力		
75	#72 not #74	1,169
76	#75 AND (PT=症例報告除く,会議録除く)	773
→ #76 を非 Evidence として出力		

表 3-4

RQ6 医学中央雑誌 検索実施年月日: 2006.9.3 対象年代: 1983 - 2006, Pre 医中誌含む

No	検索式	件数
1	コミュニケーション/TH	21,915
2	@会話/TH	845
3	ホリスティック医学/TH	107
4	ホリスティック看護/TH	65
5	ホリスティック/TA	114
6	エンパワーメント/TH	578
7	エンパワーメント/TA or empowerment/TA	242
8	医療従事者-患者関係/TH	10,660
9	保健医療サービスに対する患者の態度/TH	9,057
10	@保健医療サービスの必要と要求/TH	2,008
11	@患者による選択/TH	189
12	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6 or #7 or #8 or #9 or #10 or #11	40,529
13	(CK=妊婦) or 妊産婦/TH	61,473
14	#12 and #13	583
15	エビデンスレベルフィルタ (非常に広い A)	54,642
16	#14 and #15	12
→ #16 を Evidence として出力		
17	#14 not #16	571
18	#17 AND (PT=会議録除く)	397
→ #18 を非 Evidence として出力		

※RQ6 は検索語の取捨選択が特に激しかった。参考のため、検討の結果使用しないこととした検索語のうち主なものを以下に摘記する。

患者の役割/TH ☆出産関連文献なし; @人間関係/TH and 患者心理/TH and 保健医療従事者/TH; 人間関係/TA 当事者性/TA 対人関係/TA も ☆関連文献なし; ローカス・オブ・コントロール/TH and (CK=妊婦); 意欲/TH and 出産フィルタ; @自己管理/TH ★拡散、関連文献なし; 交渉過程/TH 仲裁/TA, 仲介/TA, 交渉/TA not 性交渉/TA, mediation/TA, メディエーション/TA ★拡散、関連文献なし; コミュニケーション障壁/TH; 障壁/TA; 説得的コミュニケーション/TH 説得/TA ★関連文献なし; 個人的満足/TH and (CK=妊婦); 医師の役割/TH ★拡散、関連文献なし; 看護の役割/TH ★拡散、関連文献なし; 患者の役割/TH ☆出産関連文献なし; 自己効力感/TH and (CK=妊婦) ★該当文献無し 禁煙などに拡散; 意欲/TH and 出産フィルタ, (CK=妊婦); 無駄な医療/TH ★該当文献無し; 医療関係者の態度/TH ★該当文献は他のシソーラス用語でカバー; 無用な処置 ★1件しかない; 自信/TH フリーキーワード参加型/TA 患者参加/TA 患者の参加/TA 交渉/TA etc. すべて×

表 3-5

RQ8 医学中央雑誌 検索実施年月日: 2006.8.27 対象年代: 1983 - 2006, Pre 医中誌含む

No	検索式	件数
1	努責/TA	56
2	バルサルバ/TA or valsalva/TA or ヴァルサルヴァ/TA	1,418
3	いきみ/TA	95
4	pushing/TA or プッシング/TA	21
5	コーチング/TA or coaching/TA	289
6	ソフロロジー/TA	60
7	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6	1,929
8	出産・胎児・新生児フィルタ	146,890
9	#7 and #8	122
10	呼吸法/TA	810
11	呼吸/TH	16,203
12	#10 or #11	16,746
13	分娩/TH or @分娩法/TH or 自然分娩/TH or 難産/TH or 分娩介助/TH or @分娩術/TH or 分娩管理/TH	17,856
14	#12 and #13	81
15	#9 or #14	196
16	エビデンスレベルフィルタ (非常に広い A)	54,219
17	#15 and #16	4
→ #17 を Evidence として出力		
18	#15 not #17	192
19	産痛/TH or 陣痛/TH	178
20	和痛/TA	187
21	#19 or #20	351
22	#18 not #21	181
23	#22 AND (PT=会議録除く)	114
→ #23 を非 Evidence として出力		

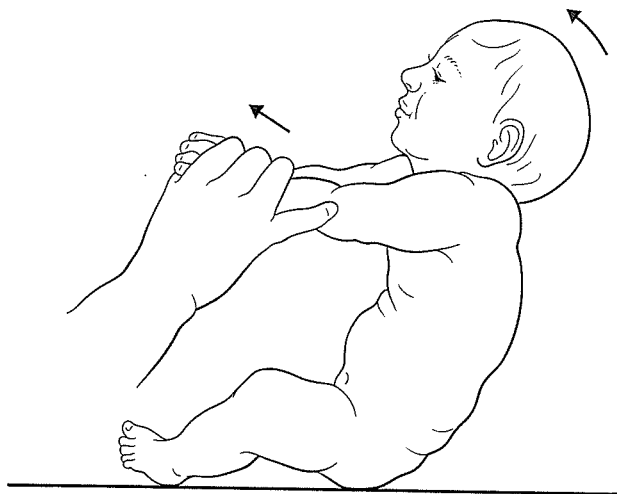


図8 引き起こし反射

の母指を手掌に入れて握り約3秒かけてゆっくり引き起こす。正常児は肘を軽く曲げて、頭を上げようとする(図8)。筋緊張が低下している児は、減弱～消失している。筋緊張亢進の児では、肘関節は強く曲げて、下肢を伸展する反応をする。

おわりに

冒頭にも述べたが、新生児期の神経学所見は成

* * *

お知らせ(3)

■第18回厚生労働科学研究
「快適な妊娠出産のためのガイドライン(案)」
の意見公募のお知らせ

下記の期間にホームページを開設し、周産期医療に携わる産婦人科医、新生児科・小児科医、助産師、保健師、看護職等、現場の専門職の皆様、行政に携わる方々、多くの方々からご意見を伺います。左記の期間にホームページをご覧頂き、平成19年2月28日迄にご意見をメール等でお寄せ下さい。

期 日：平成19年1月1日～2月28日

URL：

<http://sahswww.med.osakau.ac.jp/~osanguid/index.html>

ご意見の連絡先

e-mail：boseiofc@sahs.med.osaka-u.ac.jp

fax：06-6879-2532

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1-7

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

島田三恵子(主任研究者)

平成 18 年度厚生労働科学研究

「快適な妊娠出産ケアのためのガイドライン(案)」

意見公募

【期間】2007年1月1日～2月28日
 詳細 ホームページ (<http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~osanguid/index.html>) 参照。

●意見送付先

E-mail : boseiofc@sahs.med.osaka-u.ac.jp
 FAX : 06-6879-2532
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 島田三恵子(主任研修者)

シンポジウム「対話が拓く医療」II

医療 ADR(裁判外紛争処理)の実践と可能性

【日時】2007年1月13日(土)
 13:00～18:00

【会場】早稲田大学小野梓記念館小野記念講堂(27号館地下2階ホール)

●プログラム

第1部「医療事故 ADR の実践」
 “千葉における医療 ADR 設置の試み” 西口元(千葉地方裁判所判事)・“茨城県医師会医療問題中立処理委員会の実践” 小澤忠彦(茨城県医師会)・“アメリカでの医療事故 ADR への取り組み例—院内と院外の連携” 中西淑美(大阪大学 CSCD 講師)・“院内医療 ADR としてのメディエーションの実際” 林里都子(福井総合病院)

第2部「提言：医療事故裁判外紛争処理制度の設置へ向けて」和田仁孝(早稲田大学法科大学院教授)／〈パネルディスカッション〉

中村芳彦(法政大学法科大学院教授・弁護士)・西口元・長谷川剛(自治医科大学助教授)・和田仁孝

【定員】200名

【参加費】参加無料

●申し込み・問い合わせ先

早稲田大学大学院法務研究科
 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL : 03-3208-9592
 FAX : 03-3327-0577

E-mail : sympo@conflict-management.jp

第9回母子保健福祉研修会

障害児を取り巻く法制度とリハビリテーション

【趣旨】近年、わが国の社会保障制度の枠組みは、国による「保護と弱者救済」から、社会連帯による「自立支援」へと大きく変容してきました。2006年から施行されている障害者自立支援法は、身体、知的、精神の障害種別と年齢を超えたサービス内容の一元化を具体化したものとなっています。しかし、発達障害児の支援体制や小児医療体制など、残された問題が多いことから、今後も体制が変化する可能性が指摘されています。本研修会では、障害児を取り巻く法制度を理解することで、小児リハビリテーションにおける長期支援計画のあり方を考えます。

【日時】2007年2月10日
 10:00～15:40

【会場】(社)日本理学療法士協会会館 渋谷区千駄ヶ谷3-8-5

【内容】障害児を取り巻く社会制度の解説、障害児リハビリテーションと社会制度

【講師】松野俊次(豊田市こども発達

センター)、他

【参加費】無料

●申し込み方法

e-mail または FAX にて、①氏名(ふりがな)、②所属(施設名、住所、電話番号、FAX 番号)、③職種、④ e-mail アドレスまたはご連絡可能な電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。

締め切り：2007年2月4日

●申し込み・問い合わせ先

〒253-0111 神奈川県茅ヶ崎市西久保500 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 縄井清志宛
 TEL : 0467-88-6611

FAX : 0467-88-6612

e-mail : mfrjy02025k@ybb.ne.jp

第15回助産師のための母乳育児セミナー

【日時】2007年2月24日(土)・25日(日)

【会場】岡山プラザホテル(岡山市浜2-3-12)

【テーマ】母と子の幸せのために

●プログラム

○2月24日(土)

・特別講演「助産師の新たな役割を考える」高田昌代(神戸市看護大学)
 ・教育講演「赤ちゃんにやさしい病院を考える」中村和恵(小児科医)
 ・教育実習講座「助産師が行なう乳房のトータルケア」光岡美智子他
 ・サテライトセミナー『そこがきたい!!!』

生理的体重減少どこまでまてる？
 糖水補充は？ 卒乳と断乳 混合母乳での母乳育児・母子同室 乳房トラブル

拝啓、時下ますますご清勝のことと存じます。

今年は『健やか親子21』の取り組みが始まってから5年が経過しました。

この度、平成17年度厚生労働科学研究費補助金により「科学的根拠に基づく快適な妊娠・出産のためのガイドラインの開発に関する研究」班（主任研究者 島田三恵子、分担研究者 杉本充弘、縣俊彦、大橋一友）がこの折り返し時点で、その課題の1つ「快適で安全な妊娠出産」の現状について、サービスの利用者であるお母様方（約3000～4000名の予定）への全国調査を計画しております。

また、産科医の減少により出産施設の閉鎖が続く中で「快適で安全な妊娠出産ケア」を提供するだけでなく、医療者にとっても快適な母子保健医療体制を構築するために現状の医療体制を調査し、実現可能で快適な妊娠出産ケアのガイドラインを検討したいと考えております。

つきましては是非ご協力をお願い致したく、失礼ではあります但し書面にてご依頼申しあげます。以下の調査方法、内容につきまして、貴院での調査にご協力頂けますかどうか、更にご協力頂ける場合には調査期間中にお母様に何部程度の配布・回収が見込まれるかを、回答用紙にご記入の上、恐縮ですが平成17年10月11日（火曜日）までに返信封筒に入れて回答頂けますようお願い致します。

<調査方法>

- ① お母様への調査：産後1ヶ月健診に来られた褥婦様へ、外来で質問紙を順次配布して頂き、記入後お母様ご自身で返信用封筒に入れて郵送（着払い）で回収致します。この調査票には予め整理番号を付してあり、ご希望の施設には貴院の母親調査の集計結果をご報告致します。回答者は無記名のため個人は特定されません。
- ② 分娩施設への調査：周産期の管理者の方（産科部長様、産科の助産・看護師長様）に回答して頂き、返信用封筒に入れて郵送（着払い）で返信願います。

<調査期間>平成17年10月上旬～12月上旬

<調査内容>

- ① お母様への調査：妊娠・分娩・産後入院中のケア、処置、医療側の対応、等
- ② 施設への調査：安全性を確保しつつ母親達が望む快適で満足なお産を提供するために最低限度必要なマンパワーや活性化すべき現存の体制と補充すべき体制

この調査は無記名で全て統計処理しますので、ご協力頂く方々の個人名、個人情報および施設名等一切外部に公表されることはございません。何とぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成17年9月28日

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 島田三恵子
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 Tel 06-6879-2532
E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

厚生科学研究への協力依頼に関する回答

1、貴院は妊婦健康診査または分娩を取り扱っていますか？

- 1) 分娩を行っている（出張開業も含む）
- 2) 外来診療のみ行っている（妊婦・褥婦などの健康診査）
- 3) いずれも行っていない（休業、閉鎖含む）

2、お母様への調査に協力

- 1) する 2) しない （どちらかを○で囲んで下さい）

↓

ご協力頂ける場合

調査期間中に（ ）部程度の配布・回収が見込まれる。

※目安として、1ヶ月の分娩数の1/2～1/4程度ご協力頂ければ幸いです。
最終的にお願いする調査票部数は貴院の上限を超えない範囲で調整致します。

3、出産施設の調査に協力

- 1) する 2) しない （どちらかを○で囲んで下さい）

4、貴院の母親調査の集計結果を希望

- 1) する 2) しない （どちらかを○で囲んで下さい）

貴院名 _____

御住所 〒 _____

電話・FAX _____

上記の2. と3. の両方の調査、またはいずれか一方の調査でも、ご協力頂ければ幸いです。

調査票の送付、配布の際に窓口となって頂ける方をお教え下さい。

御氏名・職名 _____

電話・FAX _____

平成 17 年 9 月 28 日

研究協力施設

ご担当 様 各位

厚生労働省科学研究への調査協力の御依頼

この度は、調査へのご協力を頂き、誠にありがとうございます。本来ならばお伺いして、ご説明させて頂くべき所、全国に伺うことも叶わず書面のお願いにて失礼致します。

今年は『健やか親子 21』の取り組みが始まってから 5 年が経過しました。その折り返し時点で、平成 17 年度厚生労働科学研究「科学的根拠に基づく快適な妊娠・出産のためのガイドラインの開発に関する研究」班（主任研究者 島田三恵子、分担研究者 杉本充弘、縣俊彦、大橋一友）がその課題の 1 つ「快適で安全な妊娠出産」の現状について、出産されたお母様方から妊娠・出産・育児に関する母子保健医療への思いを明らかにし、お母様方が望む快適な妊娠出産育児ケアを提供する資料とするために、全国調査を行うことになりました。

また、産科医の減少により出産施設の閉鎖が続く中で「快適で安全な妊娠出産ケア」を提供するだけでなく、医療者にとっても快適な母子保健医療体制を構築するために現状の医療体制を調査し、実現可能で快適な妊娠出産ケアのガイドラインを検討することを目的とし、全国調査を行うことになりました。

そこで、ご多忙の折お手数をおかけし誠に恐縮ですが、別紙のような方法で、調査票を配布または返送下さいますようご協力をお願い申し上げます。

1、貴院でお願いしたい自記式調査票の部数

『お母様へのお産のアンケート』（桃色のお願い文、返信封筒）		部
『出産施設へのアンケート』（水色のお願い文、返信封筒）	1	部

2、調査期間：平成 17 年 9 月下旬～10 月末

3、対象と方法

- ①お母様への調査：上記の調査期間に、産科外来で、産後 1 ヶ月健診を来られた褥婦様に順番に、お願いした質問紙が無くなるまで配布して下さい。お母様が記入後、お母様ご自身が返信用封筒に入れて封をして、1 週間以内に郵送（着払い）して下さい。ご説明願います。
- ②出産施設への調査：周産期部門の管理者の方（産科部長様、産科助産・看護師長様）に回答して頂き、返信用封筒に入れて郵送（着払い）で速やかに返送をお願い致します。

アンケートに関するご質問・ご意見がありましたら下記までお寄せ下さい。

送付先および連絡先 主任研究者 島田三恵子宛

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 - 7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

Tel/Fax 06 - 6879 - 2532、 E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

平成17年 9月28日

お産後のお母様に調査へのご協力をお願い

ご出産おめでとうございます。

出産後1ヶ月経ちましたが、育児等に夢中で過ごされ、お疲れさまでした。

この度、お産後のお母様方から、妊娠・出産・育児に関して保健医療サービスや医療従事者への思いを明らかにし、お母様方が望む満足な出産や育児ができるようなお手伝いに役立てる事を目的として、厚生労働省の研究費を受けて、これからの妊娠出産ケアに関する調査を行っております。

お忙しいことと存じますが是非とも調査にご協力をお願い致します。なお、この調査にご協力頂かなくてもお母様に何ら不利益はございません。途中いつでも自由に参加を取り止めることができます。その場合も、お母様に何ら不利益はございません。

お忙しいところお手間をおかけいたしますが、御記入頂き、同封の封筒に入れて、封をして、1週間以内にご返送下さいますようお願い致します。

なお、この調査票には整理番号が付いていますが、全て無記名で統計処理し、ご協力頂く方々の個人名、個人情報とは特定されませんし、一切外部に公表されることはございません。また、施設内の資料、研究報告書および学会発表に使用する他は、回答内容が目的以外に使用されないことをお約束致します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

アンケートに関するご質問・ご意見がありましたら下記までお寄せ下さい。

送付先および連絡先 主任研究者 島田三恵子宛

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

Tel/Fax 06-6879-2532、 E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

妊娠してから出産、産後の間、あなたご自身が受けた保健医療ケアや医療従事者と接した中で、あなたの感じたことや記憶していることについて、以下の質問にお答え下さい。必要な時には、母子健康手帳を参考になさして下さい。

回答は、当てはまる番号に○を付け、□□に数字を、()に文字をお書き下さい。特にお断りしていない限り、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

I あなたご自身のことについておたずねします。

1. 現在、あなたは何歳ですか。 □□歳
2. 今回あなたが出産した場所は()都・道・府・県
3. あなたはお仕事をもっていますか。
仕事をもっている(自営業を含む)。
 - 1) 産後休暇6週間を待たずに、働く予定(または既に働いている)。
 - 2) 産後休暇中であるが、産後職場復帰する予定。
 - 3) 育児休業をとってから、職場復帰する予定。仕事をもっていない。
 - 4) 妊娠・出産を契機に退職し、しばらく就職するつもりはない。
 - 5) 就職を希望しているが、失業中である。
 - 6) 妊娠前から専業主婦である。
 - 7) その他
4. 今回の退院は、お産当日を入れて何日目でしたか。 □□日目
5. 退院後、どこで過ごしましたか。
 - 1) 自宅
 - 2) 自分の実家
 - 3) 夫の実家
 - 4) その他()

II 以下の欄は母子健康手帳を参考にご記入下さい。

6. 今回のお産は、何回目のお産ですか。
 - 1) 初めて、
 - 2) □□回目
7. 妊娠何週で産まれましたか。 □□週
8. 赤ちゃんは何グラムでしたか。 □□□□g,
双子以上の場合
□□□□g, □□□□g, □□□□g,

9. 今回の妊娠中の健康状態は次のどれですか。

当てはまる回答にいくつでも○を付けて下さい (複数回答可)

- 1) 健康、あるいは特に異常はなかった。
- 2) 妊娠中毒症があった。
- 3) お産の時まで逆子 (骨盤位) だった。
- 4) お産の前まで、胎児が小さいと言われた。
- 5) お産の前まで、胎盤の位置がおかしい、又は普通の位置ではないと言われた。
- 6) 羊水が少ない、又は多過ぎると言われた。
- 7) その他、特に医師に言われていたこと ()

10. 今回のお産の経過についてお答え下さい。 (複数回答可)

- 1) 特に異常はなかった。
- 2) 微弱陣痛
- 3) 胎児仮死
- 4) 出血多量
- 5) 逆子 (骨盤位)
- 6) その他の診断名 ()
- 7) 分娩所要時間

--	--	--

 時間

--	--

 分

11. 今回のお産に関し、受けた手術・処置についてお答え下さい。 (複数回答可)

- 1) 自然分娩 (正常分娩)
- 2) 吸引分娩
- 3) 鉗子分娩
- 4) 帝王切開
- 5) 無痛分娩 (硬膜外麻酔)
- 6) 陣痛誘発 (陣痛のない状態から、薬を使用して陣痛を起こした)
- 7) 陣痛促進 (陣痛はあったが、更に薬で陣痛を強くした)
- 8) その他、行われた処置 ()

Ⅲ 今回の妊娠中のことについておたずねします。

満足 やや満足 中間 やや不満足 不満足
1) 2) 3) 4) 5)

12. 妊娠中のケアについて満足でしたか。

--	--	--	--	--

13. 今回のお産の妊娠中の健診を、主に受けた所はどこですか。

- 1) 大学病院
- 2) 病院 (総合病院、産婦人科の病院、入院ベッド20床以上)
- 3) 医院 (産婦人科の医院・クリニック、入院ベッド19床以下)
- 4) 助産院
- 5) その他 (場所:)

